

兵庫県宝塚市

【テーマ】 持続可能なインフラマネジメントの実現 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】 道路 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

地域の力(市民・行政・企業)を強靱化する包括委託の検討

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ ）

持続可能なインフラマネジメントを実現するため、行政職員の業務逼迫を解消して市民対話と技術業務を充実させ、地域の建設会社等の技術力を向上させて事業分野の拡大を可能とし、市民が取りまとめた「まちづくり計画」と「インフラメンテナンス」を連動させる包括的民間委託の事業スキームを検討したい。

①解決したい課題

【ニーズ】

- 市民が取りまとめた「20地域ごとのまちづくり計画」を「インフラメンテナンス」と連動して実現したいが、業務過多と人員不足により業務が逼迫し、十分に市民と対話できる体制を構築できていない。
- 道路巡視を定期的に実施しているが、生活道路を網羅できず、市民の通報等に頼らざるを得ない。
- 受付が多チャンネル化（窓口、電話、郵便、メール、LINE等）して、対応が煩雑になっている。
- 業務の逼迫により、本来の技術業務が後手に回っており、技術職員の技術力の低下が懸念される。
- 道路橋定期点検等を地域一括発注で対応しているが、直営発注せざるを得ない道路橋があるほか、コストの縮減や、施工計画、新技術の活用、集約・撤去、更新等を一体的に検討できていない。
- 平時の維持管理と災害時の復旧復興を中心的に担う地域の建設会社等は、小規模な事業者が大半で、資機材の急騰や深刻な人手不足を背景に、体力や、技術力、競争力の低下が懸念される。

【人口、面積、立地】

人口：約22.7万人、面積：101.89km²、立地：兵庫県南東部
南北21.2km、東西12.8km、山地により南部市街地と北部田園地域に二分され、南部市街地は二級河川武庫川により東西に分断されている。

【対象としたい公共施設】

市道延長：約860km、道路橋：443橋、横断歩道橋10橋、
トンネル：2本、大型カルバート：2基、街路灯：21,718件ほか

【課題に関する取り組み状況】

2028年度に道路等のインフラメンテナンス分野に包括的民間委託を導入することを目指し、2026年度に総合管理計画の改定を予定している。



②課題解決の方向性等

【課題解決に向けて制約や条件】

- ・「20地域ごとのまちづくり計画」を推進するため、関係課の業務の逼迫を解消して市民対話したい。
- ・2028年度から複数年の事業として包括的民間委託を導入したい。
- ・現状程度の事業コストを維持または縮減しつつ、市民サービスの質を向上させたい。
- ・国庫補助金や地方債を有効に活用したい。
- ・地域経済を縮小させることなく、地域企業の活躍の場を広げたい。

【民間事業者のシーズ提案に期待する事項】

- 地域インフラ群再生戦略マネジメントへの円滑な移行や、南海トラフ巨大地震などの災害への備えとして、インフラメンテナンス分野に 包括的民間委託を導入して地域の力（市民・行政・企業）を強靱化したい。
- 1 十分に市民と対話して集約撤去等の合意形成を図るため、技術職員の業務の逼迫を解消したい。

2 道路等の日常的な維持管理業務を分野横断で包括化し、業務の効率化を実現したい。

3 道路橋等の定期点検、長寿命化修繕計画、補修設計、補修工事を包括化し、コストの適正管理と縮減、精微な施工計画の検討、積極的な新技術の活用と集約撤去を実現したい。

4 デジタル技術の活用により、業務の自動化、効率化、高度化、情報の共有化を実現したい。

5 最終的には市内の河川や公園、下水道といった分野を横断した包括的な管理スキームを構築したい。

6 地域の小規模な建設会社等が、包括的民間委託をととして充実した技術指導を受け、実際の業務に従事することで新たな技術を獲得し、技術力の向上、事業分野の拡大、経営の安定化、担い手の確保、広域に対応できる体制の構築を実現したい。

- ・効果1：災害時に道路橋の多くを占めるRC床版橋の緊急点検と復旧に即時対応して交通開放できる。
- ・効果2：機動力と柔軟性を活かして、担い手が不足する他の地域で、道路橋点検や補修工事を担う。

③課題解決のイメージ・効果

【市民】平時の安全安心なインフラサービスの提供、災害時の迅速な復旧復興

【企業】技術の獲得、技術力の向上、事業分野の拡大、経営の安定化、担い手の確保、
広域への展開、将来的な地域インフラ群再生戦略マネジメントへの参画

【行政】職員の負担軽減、デジタル技術による効率化、技術業務の充実、維持管理レベルの高度化、
技術力・災害対応力の向上、将来的な地域インフラ群再生戦略マネジメントへの参画

その他

【横展開】地域インフラ群再生戦略マネジメントや包括的民間委託の検討にあたり、地域経済が縮小するのではないか？、技術職員の技術力が低下するのではないか？といった懸念があった。
そこで、発想を転換し、地域経済を維持・拡大させ、技術職員の技術力を向上させることに主眼をおき、地域の力（市民・行政・企業）を強靱化する事業スキームを構築できれば、全国に地域インフラ群再生戦略マネジメントのコアとなり得る自治体ができると考えた。